# 地域文化学科　カリキュラム・ツリー

*The Department of Regional Studies and Humanities*

## カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施の方針

1. 地域生活の実相と課題に対する認識を深めるために，統計処理やフィールドワークなどを組込んだカリキュラムを構成する。

2. 国際化という時代の要請に応えるために，外国語の実践的な言語運用能力の習得を目指したカリキュラムを構成する。

3. 講義，演習，実習・実験科目をバランスよく配して，実社会を見据えながら理論や知識の習得，スキルの獲得が行えるようにカリキュラムを構成する。

4. 地域学基礎や地域連携ゼミ等，学生参加型・地域連携型の授業を推進し，問題解決力や社会的実践力の育成に資するカリキュラムを構成する。

5. 基幹・発展科目を設定し，専門的知見に基づく諸事象への洞察力を養うカリキュラムを構成する。

## 教養基礎教育科目

幅広い知識と教養，総合的に考える力の修得

初年次ゼミ
日本国憲法
くらしと法
現代社会と経済
現代社会と企業経営
金融リテラシー
現代社会と政治
家族と社会
食と健康，心理学
観光学入門
日本の近代文学
欧米の歴史
芸術と文化
哲学入門
Modern Indonesian History
コンピュータの科学
など

基礎情報学
基礎 AI 学
基礎データサイエンス学

地域志向キャリア形成科目

大学英語
ドイツ語
フランス語
ロシア語
中国語
朝鮮語

## 専門教育科目

### 1年次

#### 専門基礎科目

地域理解の「基礎的知識・スキル」の修得

秋田学基礎（コアカリキュラム）
地域学基礎（コアカリキュラム）
地域振興論基礎
地域統計学基礎

#### 基盤科目

法学概論
経済学概論
地域生活学概論
社会学概論
人文学入門Ⅰ(歴史)
人文学入門Ⅱ(文学)
人文学入門Ⅲ(芸術)
人文学入門Ⅳ(人間)
海外研修
外国語活用法（2 年次以上）
心理学概論
臨床心理学概論
情報科学概論
メディアリテラシー
プレゼンテーション技法
データサイエンス入門
実践キャリア開発
など

### 2年次・3年次

#### 基幹科目　地域理解の「専門的知識・スキル」の修得　発展科目

※基幹・発展とも所属コースと異なるコースの授業も履修可。※2 年次から受講できる発展科目もあります。

#### 地域社会コース：社会のしくみや課題を実践的に学ぶ

| | 基幹科目 | 発展科目 |
|---|---|---|
| 講義 | 概論科目（政治学，ミクロ経済学，マクロ経済学，環境経済学，公共政策学，経営学，マーケティング，会計学，観光学，地理学，生態学），公法Ⅰ，民法Ⅰ，環境法，行政学Ⅰ，地方自治論，国際経済論，経営組織論，地域マーケティング論，地域資源活用論，社会学，現代社会論，社会調査論，地域づくり論，住居学，住環境科学Ⅰ，地域食品健康論，健康栄養学，自然環境論 | 公法Ⅱ，民法Ⅱ，行政学Ⅱ，ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ，マクロ経済学，計量経済学，財政学，金融論，簿記論，公共政策学，消費者行動論，マーケティング・マネジメント，マーケティング・リサーチ，経営戦略論，観光地域論，文化地理学，地誌学，水文学Ⅰ・Ⅱ，地域情報処理，ビジネス情報処理，福祉社会学，子どもの食と栄養，住環境科学Ⅱ，栄養生化学特論，子どもの食と栄養 |
| 実験・演習 | 地域統計技法，情報発信技法，インターネット活用技法 | 実習・演習科目（法学，現代政治，経済学，環境経済学，環境政策，経営学，観光学，会計学，プログラミング入門，社会学，社会調査論，地理学，地域食資源活用，健康栄養学，住生活調査，生態学，環境の測定と分析） |

#### 国際文化コース：日本および世界の多様な文化を学ぶ

| | 基幹科目 | 発展科目 |
|---|---|---|
| 講義 | 概論科目（西洋史，東洋史，日本史，ロシア文化，中国文化，英語圏現代文化，地域文化，映像文化Ⅰ・Ⅱ，表象文化，美術，日本文学，古典文学，文化人類学，思想史，現代思想，コミュニケーション，言語文化，日本語学），日本語文化論 | 欧米文化研究Ⅰ～Ⅳ，西洋史文献講読Ⅰ～Ⅳ，東洋史，日韓・日朝関係史Ⅰ・Ⅱ，日本史実習Ⅰ・Ⅱ，日本文学論Ⅰ～Ⅳ，表象文化論Ⅰ・Ⅱ，映像文化論，美術文化論Ⅰ・Ⅱ，中国社会文化論Ⅰ・Ⅱ，比較文化論Ⅰ・Ⅱ，比較地域社会論，多文化共生論Ⅰ・Ⅱ，比較民俗文化論，言語文化論Ⅰ～Ⅳ，言語コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ，文化コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ，日本語学Ⅰ・Ⅱ，西洋国家史論，日本地域史，日本文化とグローバリゼーション |
| 実験・演習 | ※国際文化コースでは 2 年次から受講できる発展科目（演習科目）が多数あります。 | 外国語発展演習，演習科目（西洋史，日本史,アジア歴史文化論，地域文化論，中国社会文化論，日本文学論，美術，現代思想，日本語学） |

#### 心理実践コース：心理学の幅広い領域を体系的に学ぶ

| | 基幹科目 | 発展科目 |
|---|---|---|
| 講義 | 心理学研究法，心理学統計法，感情・人格心理学，社会・集団・家族心理学，心理学的支援法，現代福祉論，地域社会学，現代社会論 | 知覚・認知心理学，教授・学習の心理学Ⅰ・Ⅱ，学習・言語心理学Ⅰ・Ⅱ，知的障害児の心理学，教育相談の理論と方法Ⅱ，福祉心理学，生徒・進路指導の理論と方法Ⅱ，教育・学校心理学，司法・犯罪心理学，産業・組織心理学，人体の構造と機能及び疾病，神経・生理心理学Ⅰ・Ⅱ，精神疾患とその治療，福祉社会学 |
| 実験・演習 | 心理学実験Ⅰ・Ⅱ，社会調査論 | 心理演習，心理実習，心理学研究法演習，社会学演習，社会調査実習 |

※心理実践コースでは 1 年次から 4 年次まで資格取得に関連する専門教育科目があります。

### 3年次

卒業研究プレゼミ

### 4年次

卒業研究

## 地域文化学科コアカリキュラム：「地域を支える実践人」を養成するための実践的教育プログラム

**地域の課題発見**
秋田学基礎
地域学基礎

**方法論，分析方法の修得**
地域社会基礎ゼミ
国際文化基礎ゼミ
心理実践基礎ゼミ

**問題解決方法の修得**
地域課題研究ゼミ
地域連携ゼミ・特定地域研究ゼミ・心理実習

## 外国語修得プログラム：外国語を効果的・実践的に修得するための教育プログラム

英語，ドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語，朝鮮語（1 年次の語学から 2 年次の外国語活用法，3 年次以上の外国語発展演習まで）

## ディプロマ・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針

1. 地域社会の風土・文化に対する確かな見識と社会的課題を解決するために必要な 幅広い教養

2. 社会のニーズを理解し，ローカルとグローバルの双方向的な視点から問題解決を図ることができる能力

3. 日本と世界の多様な文化を理解し，人間社会のあり方を深く考察することができる能力

4. 一定水準の外国語運用能力を有し，文化的背景を踏まえて，異なる文化圏に属する人々とコミュニケーションが図れる能力

5. 生活の質的向上や，地域における文化等の活性化および新たな生活文化の創造を 主体的に担おうとする態度

6. ディベートやプレゼンテーションを通して，自らの考えを明確に説明できる能力

7. 高いコミュニケーション能力と協調性をもって，協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる能力

※クォーター制の科目の名称の数字（1,2 など）は省略しています。